



## 株式のご案内

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで

定時株主総会 毎年2月中

基準日 定時株主総会については毎年11月30日  
といたします。

そのほか必要があるときは、あらかじめ  
公告して定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)

ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

同 連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

ホームページ <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

(特別口座について)

株券電子化前に株式会社証券保管振替機構(ほふり)を利用  
されていなかった株主様には、特別口座管理機関である  
上記のみずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいま  
す。)を開いたしております。従いまして、特別口座につ  
いてのご照会および住所変更等のお届出は、上記のみずほ  
信託銀行株式会社をお願いいたします。

※証券会社に口座をお持ちの場合は、お取引の証券会社へお問い合わせください。

公告方法 電子公告

但し、事故その他やむを得ない事由に  
よって電子公告ができない場合は、日  
本経済新聞に掲載

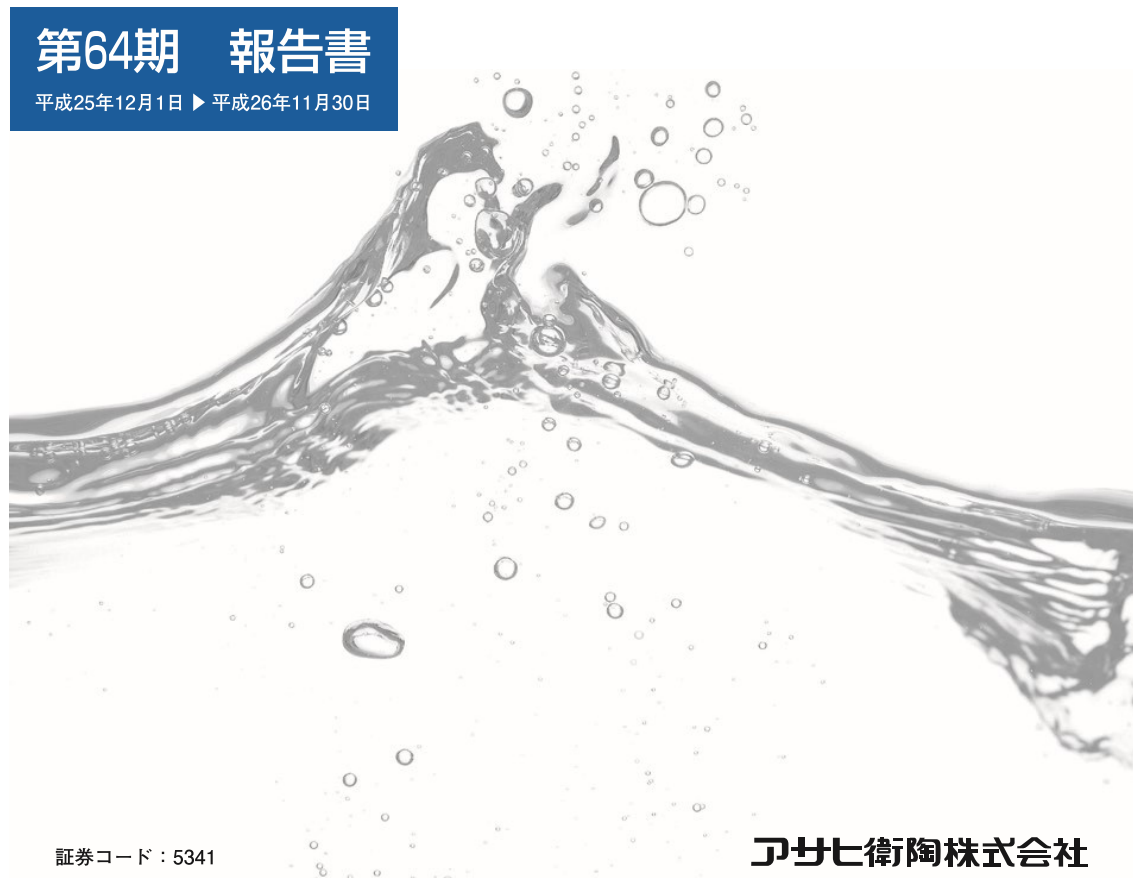
(ホームページアドレス) <http://www.asahieito.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第二部)



## 第64期 報告書

平成25年12月1日 ▶ 平成26年11月30日



証券コード：5341

アサヒ衛陶株式会社

## 株主の皆様へ



代表取締役社長

町元 孝二



社 訓  
誠實と明朗 技術と精進 親和と共栄  
基本スローガン  
社会に役立つ企業づくり

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第64期（平成25年12月1日から平成26年11月30日まで）報告書をお届けするにあたり、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年2月

### 事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、平成26年3月までは消費税増税を前にした駆け込み需要の影響による個人消費の伸びと、それに伴う企業の生産活動の水準の増加により、比較的堅調に推移してきました。しかし、平成26年4月以降については消費税増税による消費の落ち込みが想定以上に長引いていることや、円安による輸入コスト上昇が続いていることなど、景気に対する不透明感が強まっております。

当社グループに関連の深い住宅関連業界におきましても、平成26年4月以降は住宅の建設・販売が減少に転じ、このところは下げ止まりの傾向が見られるものの、販売の回復にはまだ至っていない状況となっております。

このような経済環境の中、当社グループは4期連続黒字の達成と継続的な成長を目指して以下のように取り組んでまいりました。

戦略商品（福祉介護向け商品）、省エネ分野向け商品（節電・節水）の開発推進と販路拡大を進めるとともに、今後も拡大が見込まれるリフォーム市場向けの販売強化、また仕入商品の設計変更や調達方法の変更等による仕入コスト削減などに努め、4期連続黒字を果たすことが出来ました。しかしながら消費税増税の影響による売上の反動減に加え、急激な円安による仕入コスト上昇の影響を受けたことによって、売上高および利益額については前期を下回りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,237百万円（前期比△2.1%）、営業利益は38百万円（前期比△70.6%）、経常利益は47百万円（前期比△64.5%）、当期純利益は35百万円（前期比△68.9%）となりました。

### 設備投資および資金調達の状況

当連結会計年度において実施いたしました設備投資は、金型が主なもので、その総額は31百万円でありま

す。資金調達の状況につきましては、当連結会計年度において当社グループの所要資金として、金融機関より長期借入金として150百万円の調達を行いました。

### 対処すべき課題

当社グループに関連の深い住宅関連業界におきましては、平成26年4月の消費税増税以降は新規住宅着工

戸数につきましては消費の反動減が生じておりますが、リフォーム、介護分野に於いては潜在的な成長を見込んでおり、当社グループは、引き続き経営基盤の強化および収益構造の改善を最重要課題として掲げ、下記のような施策に全社を挙げて取り組んでまいります。

#### ① 販売強化施策

- ・営業推進部門の設立により販売支援体制の強化。
- ・福祉介護向け商品（ケアシスブランド）の本格的な拡販、省エネ分野向け商品（節電・節水）の開発推進と販路拡大。
- ・ベトナムを中心とした海外市場における新規販路開拓とブランド価値向上への取組強化。
- ・品質チェック機能強化による製品の信頼性向上。

#### ② 収益性の改善施策

- ・国内外の生産体制の体制強化および見直しによるコスト削減。
- ・仕入商品の設計変更などによる仕入価格のコスト削減。
- ・物流・生産拠点の見直しによるコスト削減。
- ・高利益商品の重点販売による売上総利益率の改善。

#### ③ 財務体質の改善施策

- ・棚卸資産の適正在庫の見直しなど適切な在庫管理および保有資産（有価証券）の流動化を図り、バランスシートの健全化を推進しております。

## 連結貸借対照表

科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成26年11月30日現在)	前 期 (平成25年11月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	1,553,216	1,501,589
現金及び預金	528,719	472,298
受取手形及び売掛金	595,835	599,624
商品及び製品	298,369	303,446
前 渡 金	55,807	47,649
繰延税金資産	36,692	41,846
そ の 他	37,992	36,864
貸倒引当金	△ 200	△ 140
固定資産	661,257	660,975
有形固定資産	482,681	480,131
建物	133,108	146,189
構築物	7,569	9,855
機械及び装置	10,001	8,759
車輛・工具器具及び備品	14,695	12,687
土地	297,376	301,989
リース資産	7,557	—
建設仮勘定	12,373	650
無形固定資産	42,253	47,662
ソフトウェア	38,666	44,075
そ の 他	3,586	3,586
投資その他の資産	136,322	133,181
投資有価証券	42,026	44,406
投資不動産	78,341	70,741
出 資 金	50	50
破産債権等	—	566
差入保証金	12,033	11,703
団体生命保険金	2,909	1,705
そ の 他	1,010	4,710
貸倒引当金	△ 48	△ 702
資産合計	2,214,474	2,162,565

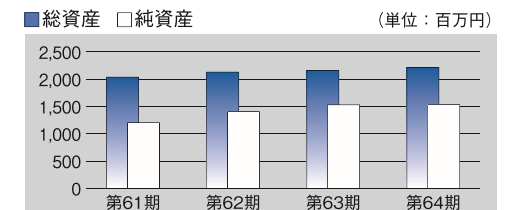
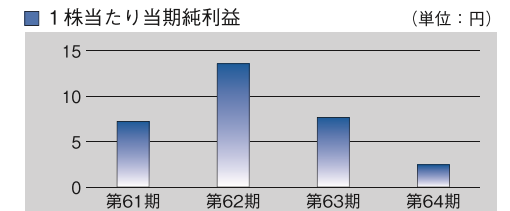
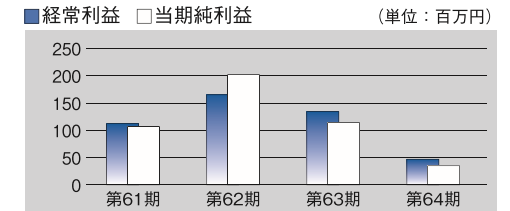
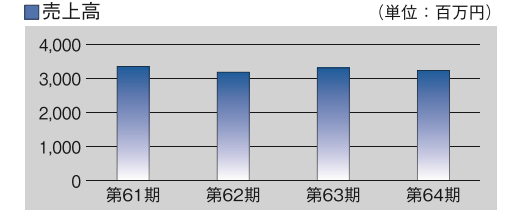
科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成26年11月30日現在)	前 期 (平成25年11月30日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	327,400	300,043
支払手形及び買掛金	70,146	72,255
1年内返済予定の長期借入金	128,971	90,600
未 払 金	59,641	61,499
未払法人税等	4,446	24,436
未払消費税等	18,126	12,540
未払費用	30,783	30,167
賞与引当金	3,930	4,060
そ の 他	11,354	4,484
固定負債	351,177	330,995
長期借入金	235,165	225,745
退職給付引当金	—	57,143
退職給付に係る負債	53,590	—
役員退職慰労引当金	16,789	11,593
預り営業保証金	36,491	34,888
繰延税金負債	2,612	1,625
そ の 他	6,529	—
負債合計	678,577	631,038
<b>(純資産の部)</b>		
株 主 資 本	1,502,626	1,506,954
資 本 金	1,403,250	1,403,250
利益剰余金	140,311	104,771
その他利益剰余金	140,311	104,771
繰越利益剰余金	140,311	104,771
自 己 株 式	△ 40,935	△ 1,066
その他の包括利益累計額	33,269	24,571
その他有価証券評価差額金	21,419	15,053
繰延ヘッジ損益	13,447	11,079
為替換算調整勘定	△ 1,597	△ 1,561
純 資 産 合 計	1,535,896	1,531,526
負債及び純資産合計	2,214,474	2,162,565

## 連結損益計算書

科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成25年12月1日から 平成26年11月30日まで)	前 期 (平成24年12月1日から 平成25年11月30日まで)
売上高	3,237,496	3,305,310
売上原価	2,079,421	2,056,265
売上総利益	1,158,074	1,249,044
販売費及び一般管理費	1,119,514	1,117,761
営業利益	38,560	131,282
営業外収益		
受取利息・受取配当金	869	791
そ の 他	24,695	20,053
営業外費用		
支払利息	4,487	5,003
そ の 他	11,990	13,084
経常利益	47,647	134,039
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,540
投資有価証券売却益	6,816	—
特別損失		
固定資産除却損	1,222	—
税金等調整前当期純利益	53,241	135,580
法人税、住民税及び事業税	13,200	21,200
法人税等調整額	4,501	—
少数株主損益調整前当期純利益	35,540	114,380
当期純利益	35,540	114,380

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成25年12月1日から 平成26年11月30日まで)	前 期 (平成24年12月1日から 平成25年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,150	124,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,229	△ 27,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,328	△ 88,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,171	1,286
現金及び現金同等物の増加額	56,421	10,172
現金及び現金同等物の期首残高	472,298	452,361
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	9,764
現金及び現金同等物の期末残高	528,719	472,298



(注) 第62期までは単体のデータとなっております。

## 会社の概要 (平成26年11月30日現在)

商号 アサヒ衛陶株式会社  
 英文社名 ASAHI EITO CO., LTD.  
 創業 享保年間  
 設立年月日 昭和25年12月20日  
 本店所在地 堺市美原区小平尾451番地  
 資本金 14億325万円  
 営業品目 衛生機器 (衛生陶器・附属器具・水洗便器セット・その他関連機器)  
 洗面機器 (洗面化粧台・化粧鏡・天板・その他関連機器)

### 従業員の状況

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
81名	39.3歳	10.0年

### 事業所所在地

本社 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5235  
 東京支店 〒115-0056 東京都北区西が丘1-21-1 ☎03-3900-2665  
 大阪支店 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5234  
 九州支店 〒841-0042 佐賀県鳥栖市酒井西町640-1 ☎0942-83-3344  
 仙台営業所 〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通29 ☎022-287-8031  
 松山営業所 〒790-0063 愛媛県松山市辻町11-27 ☎089-922-6646

## 役員

代表取締役社長	町元孝二
常務取締役	福森鉄也
取締役	上野泰志
取締役	越野秀司
常勤監査役	景山好庸
監査役	中光弘
監査役	井関新吾

(注) 監査役のうち中光弘、井関新吾の両氏は、社外監査役であります。

## 会計監査人

OAG監査法人

## 株式の状況 (平成26年11月30日現在)

### 株式事項

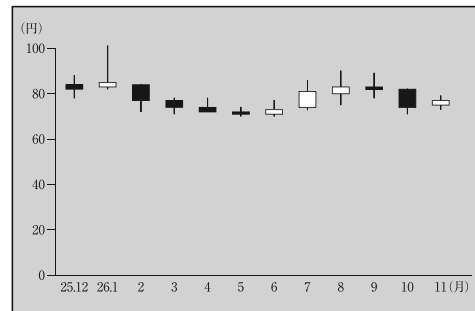
株式総数および株主数の状況は次のとおりであります。  
 発行可能株式総数 48,000千株  
 発行済株式の総数 14,940千株  
 株主数 1,450名

### 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
アサヒ衛陶取引先持株会	809千株	5.42%
秋田武松	654	4.38
日本証券金融株式会社	545	3.65
丹司英子	484	3.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75644口)	462	3.10
双日プラネット株式会社	449	3.01
阿部五美	385	2.58
クレディスイスアーゲー チユールツヒレジデントトウキョウ	304	2.04
松枝志津子	296	1.98
宝天大同	284	1.90

(注) 持株比率は自己株式 (13,482株) を控除して計算しております。

### 株価の推移 (東京証券取引所)



## トピックス

### トイレ「エディ4.7」を新発売

当社初、待望の4.7リットル洗浄の超節水トイレ「エディ4.7」が登場。新開発の「クロススピニング洗浄」でわずかな水量でも効果的に汚れを洗い落とします。お子様でも利用しやすいように、床から手洗い吐水部までの高さを800mmに抑えました。



### 福祉機器「車椅子対応洗面台ケアシス」ラインアップ追加

車椅子のままでも利用できる福祉向け洗面台を新たに追加。車椅子でのアプローチがしやすく、広めの足元スペースにより体を奥まで引き込めます。扉を付け替えると通常の収納扉として使用できるので、身体の状態に合わせて使い方が広がります。カラーは落ち着いた上品な木目調に仕上げました。



### 洗面化粧台「シャイニーピュレア」が仕様変更

お風呂の湯気でくもりにくい『くもりガード』を新たに採用。中央のミラーにコーティングを施し、従来のヒーター方式と比べて電気代がかからず、消し忘れる心配もありません。LED照明と節水型水栓の組み合わせで、より一層エコな商品として進化しました。



### 温水洗浄便座「サンウォッシュ」を一新／ラインアップ追加

デザインと一部機能を見直し、「サンウォッシュ」リモコンタイプと袖付きタイプが生まれ変わりました。さらに基本性能にリモコンが付いたベーシックタイプの温水洗浄便座「サンウォッシュDA」が新たに仲間入り。充実したラインアップで好みの便座が選べます。

